

議案第9号

倉敷市指定重要文化財の指定について

このことについて、次のとおり議決を求める。

令和2年2月17日提出

倉敷市教育委員会

教育長 井 上 正 義

指定する文化財

- | | | |
|---|----------------|---|
| 1 | 名 称 | 単鳳環頭大刀柄頭 |
| 2 | 種 類 | 考古資料 |
| 3 | 員 数 | 2 点 |
| 4 | 所在の場所 | 倉敷市真備町箭田 3 6 5 0 |
| 5 | 所有者の氏名
及び住所 | 宗教法人 吉備寺 代表役員 杉岡正規
倉敷市真備町箭田 3 6 5 0 |
| 6 | 品質及び形状 | 《柄頭1》 鑄造品（銅，鉛，ヒ素の合金）。環帯部表面は金鍍金。
《柄頭2》 鑄造品（銅，鉛の合金）。環帯部表面は金鍍金。 |
| 7 | 寸法又は重量 | 《柄頭1》 環帯部幅 6.8 cm・高さ 5.1 cm, 茎幅 1.8 cm・長さ 2.1 cm,
重量 121.6 g
《柄頭2》 環帯部幅 6.3 cm・高さ 4.7 cm, 茎幅 2.2 cm・長さ 2.7 cm,
重量 99.8 g |
| 8 | 指定の理由 | 当該資料は、岡山県三大巨石墳の一つに数えられる国指定史跡箭田大塚古墳から出土したもので、6世紀後葉の下道郡において、中央政権と直接的に結びついた有力者の存在を窺わせる数少ない考古資料の一つである。いずれも柄頭のための資料ではあるが、岡山県内では他に3点が知られているのみであり、当時の金工技術や生産体制を考えるうえで、貴重かつ重要な考古資料と評価できる。 |